

日塗装県支部・設立40周年記念式典

さらなる飛躍を祈念

強調・団結で支部運営推進



日本塗装工業会長表彰も行われた記念式典
＝鹿児島市の城山観光ホテルで

げます」と挨拶。
続いて、来賓を代表し
て飯屋基美副知事、赤崎
正剛鹿児島市議会議長、
河野玉吉日本塗装工業会
長がそれぞれの立場から
祝辞を寄せた。

引き続き、日本塗装工業会の会長表彰では、長年にわたり業界の発展に尽力した有村衛氏（有村塗装㈱）、竹迫為雄氏（有村塗装）、竹迫為雄氏（有村塗装）、山田勝明（有山田塗装）の3氏に河野会長から、感謝状と記念品が贈られた。

受賞者を代表して山田氏が「本部役員として12年務めてくれたのも、多くの皆さまからご協力を頂いたお陰と感謝申し上げます。きょうの表彰は

何ものにも変えられませ
ん。本当にありがとうご
ざいました」と謝辞を述
べた。

記念講演会では、第十管区海上保安本部の西谷三廣鹿児島海上保安部長が「海上保安の現状について」と題して講和。記念祝賀会では、瀨園理事

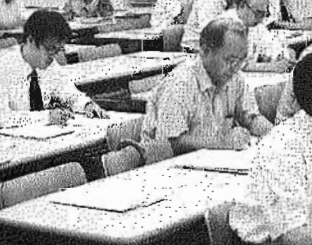
CRC推進局が新会社法でセミナー

年内に新たな定款を

CRC企業再建・承継コンサルタント協同組合コンサルタント協同組合（代表理事・岩元耕亮（株）アセットパートナー）は13日、大分県大分市のかこしま県民交流センターでセミナー「新会社法の裏側が分かる」を開催した。経営者や金融機関、専門士業、各種団体に約50人が受講し、新会社法の戦略的活用方法について知識を深めた。

講師は司法書士・社会保険労務士で組合常務理事の河合保弘氏。経営者が知っておきたい「新会社法」の戦略的活用方法について、①新会社法が及ぼす中小企業・オーナー企業への影響②新会社法に懸された五つのリスク③新

いと言われているが、何らかのアクションを起こさなければ、数年後には選別されるだろう。金融機関等は必ず定款の提出を求めている。



必要がある」などと述べた。

このほか、中小企業庁が発表した「事業承継ガイドライン」、モノと心が調和した正しい「経営承継」の進め方などについても講義があった。

問い合わせは、CRC 県推進局の㈱アセットパートナーズ南九州(☎099・260・9201)まで。

約50人が受講したセミナー「鹿児島市のこごしま県民交流センターで」

見学会後に写真に納まる関係者。志布志市有明町の現地で

した地質構造等と事業効てく

日高和己氏
(株)日本ジオテックの地質構造説明に続いて、仮屋葺吾現場代理人が作業状況等を説明した後、法面(斜面)の高さや、バックホウの重さ、工期などを問題として質問すると子供たちからは元気な声で答えが返ってきた。

引率してきた月野真紀校長は

ボランティヤ

(有)大洋水道(森木茂社)ど、同
長、加治木町 はこのほ 敷地内

社近くの春日住宅に駐輪場などをポランティアで製作、地域住民から感謝された。ポランティアは、春日自治会長でもある森木社長に数が少ない駐輪場に納まる社員＝加治木町の現地で製作した写真に納まる社員＝加治木町の現地で

とボランティアで製作を決めた。駐輪場は、住宅住民らも協力しながら社員が業務の合間を見ながら1カ月をかけて製作。材料などは、建設廃材を使い10台程度がとめられる施設が出来上がったほか、カラス被害でこちらにも要望があったごみ置き場のフェンスも同時に製作した。

住民らは「日ごろから草払い等もやっていただいているのですが、今回もすぐ対応してもらいありがたいです」と感謝していた。

原田小児科 事業効果を体験

県大隅土木事務所（矢野泰博所長）と（株）池崎建設（池崎美次社長、志布志市）は13日、有明町十一（23人）を招き現場見

文字地区で工事中の急斜地崩壊対策工事現場

原田小学校5・6年

中村俊一県大隅土木事務
所次長兼河川砂防課長が
「わたしたちは、がけ崩
れなどで家が壊れること
がないように災害を防ぐ
工事をしています。現場

りがたい、子供たちも喜び感謝しています」と話した。

西郷隆盛銅像周辺や西郷蘇生の家（鹿児島市吉野町）、鹿児島合同庁舎ベ

や街路樹の維持、管理に努めていきたい」と抱負を述べた。

日本塗装工業会九州支部連合会（麻生邦英会長、分県）は14日、鹿児島県の城山観光ホテルで18年度第38回定時総会Ⅱ「写実Ⅱを開き、自主品質管

適正価格の調査研究などを柱とする新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では麻生会長を再選した。

総会では冒頭、麻生会

西郷銅像周辺など清掃

県造園建設業協会（間
世田武裕会長）は14日、
秋の観光シーズンを前に
鹿児島を訪れる観光客に
果を現場で体験した子供
たちは大喜びした。

「地域にある地層を教材
に理科の勉強の一環とし

施。会員企業53社から約60人が参加し、高所作業車等を使った樹木の剪定や周辺の清掃作業に心地よい汗を流した。

活動は、造園技術の向上や都市環境の整備促進等を目的に、毎年行われているもので、今回で6

間世田会長は「専門技術を生かした作業により、銅像周辺の景観が毎年少しずつ良くなっていると感じます。業界は依然厳しい状況が続いています。が、都市緑化の推進はもとより、法人としての社

日本塗装工業会
九州支部連合会総会
麻生会長を再選

麻生会長を再選

「会員全体が一致団結し、塗装業界の地位向上を図っていこう」と言葉を寄せた。

引き続き、麻生会長を引き続き、

分県を選出した。

では、麻生会長を再選したほか、池田敏章氏（長崎県）、清家純夫氏（福岡県）、上野達己氏（大



滑掃では重
刈り機や前
定ばさみ
ほうきなど
を使って手
際良く作業
が進められ
終了後は目
達えるよう

樹木剪定などを行う参加者＝鹿児島市の西郷銅像周辺で

ランタ庭園の3カ所での実施。このうち、西郷銅像周囲の